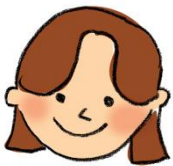


家庭学習の手引き ホームページ詳細版



家庭学習について、保護者の皆さんに心掛けていただきたいことをまとめました。

学校でも学力向上のために日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになるのではないかと考えます。そこで、家庭学習の手引きを作成し、保護者の皆様に配付しています。趣旨を御理解いただき、充実した家庭学習になるよう御協力ください。



家庭学習の習慣づけのために・・・

～全学年共通の約束～

◎家庭学習を始める前に子供と一緒に確認してください。

- ① 身の周りの整理整頓をしてスッキリと。
- ② テレビを消して集中力アップ！
- ③ 学習する時間を決めて、なるべく毎日同じ時間に。

◎声掛けを大切に！

☆ 子供が学習していることに興味をもち、励ましてあげてください。

☆ 子供が頑張った成果（ノートやプリント等）に目を通し、頑張りをほめてあげてください。

（例）スタンプやシールなどで成果が見えるような工夫や「自分から進んでできたね。」「最後まで集中してできたね。」などの次の日も頑張ろうという気持ちになれるような声掛け。

小学1・2年生

家庭学習のポイント

一緒に関わって、やる気を起こす

学習時間の目安 20～30分

- 学校からの宿題やプリントは保護者が一緒に確かめてあげましょう。
(毎日、本読みカードにサインや一言を書いてください。)
- 学習する時間や何時までに学習を終えるか目標を立てられるようにしてあげましょう。
- 鉛筆を正しく持てるように見届けましょう。

家庭での関わりのコツ

1 子供の話はしっかり聞こう！

忙しい毎日ですが、ときには時間をたっぷりって子供の話をよく聞きましょう。



2 家族も一緒にルールを守ろう！

「宿題を最後までやること」を守らせましょう。毎日確認もしましょう。テレビやゲームの使用について、家族も一緒にルールを守りましょう。

3 子は親の後ろ姿を見て育ちます！

家族ぐるみで、よりよい学習環境づくりに努めることが大切です。

小学1・2年生

この時期の子供は・・・～生活や学習の習慣をつけるとき～



- 何でも知りたがります。
- 頑張ったことやよいところをほめてほしい、認めてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、自分でやり方を決めるのはまだ難しい時期です。

- ・ さまざまなことに興味・関心をもち、自分でやっという時期です。できたことは、「よくやったね！」と笑顔でほめてあげましょう。自信と意欲につながります。
- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん」はもちろんのこと、家の手伝いや自分で学習の準備をする習慣をつけていくことから、自ら学ぶ意欲を育てていきましょう。
- ・ まだまだ手助けが必要な時期です。任せきりにせず、一緒にやったり教えたりすることも必要です。

効果的な学習方法（目指す子供の姿）

国語

<音読>

- ・ 毎日、教科書を読む。
- ・ 句読点に気を付けて、大きな声で読む。

<漢字>

- ・ 書き順、とめ、はね、はらいに気を付けて、正しく書く。
- ・ お手本をよく見て、繰り返し丁寧に書く。

<読書>

- ・ 週末には、読書をする。

算数

<計算>

- ・ 最初は速さを競わず、楽しみながら、計算に慣れる。正確にできるようになったら、少しずつスピードを上げる。
- ・ 間違った問題は、必ずその場でやり直す習慣を身に付ける。
- ・ 計算カードやかかけ算九九カードは唱えながら練習する。
- ・ 文章問題は声に出して問題を読む。

小学3・4年生

家庭学習のポイント

認めて、ほめて、自信をつける

学習時間の目安 40～60分

- 宿題は自分でやるようにし、必ずおうちの方が見届けましょう。
- 頑張りを見逃さず、励ましの言葉を掛けましょう。
(分からないところは答えを教えるのではなく、一緒に考えてあげましょう。)
- 毎日決まった学習時間帯、決められた場所で学習できるようにしましょう。

家庭での関わりのこつ

1 他の子と比べないようにしよう！

学習に個人差が出てくる時期です。友達や兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて頑張りを見逃さずに本気でほめましょう。



2 目上の人に対する言葉遣いを教えよう！

子供は、家族が他の人と話す様子を見ていて、敬語を覚え目上の人との関わり方を学びます。大人のすることを真似て、知識として覚えます。言葉だけでなく心も大切なことを教えましょう。敬語が正しく使えなくても尊敬する気持ちを伝えることが大切なことも教えましょう。

3 約束を決めて家族みんなで守ろう！

家族ぐるみで、よりよい学習環境づくりに努めることが大切です。大人がお手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。

小学3・4年生

この時期の子供は・・・～興味・関心の幅を広げ、可能性の枝を伸ばすとき～



- 何でも自分でやりたいと思っています。
- 自分でできるようになったことが増え、自信をもち始めます。
- まだ、一人の力ではうまくできないことが多く、アドバイスや励ましが必要です。

- ・ 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。行動範囲も広がってきます。自己主張や反抗なども見られるようになります。まだ、手助けも必要ですが過干渉にならないように気を付けましょう。
- ・ 子供の成長をとらえ、まずはしっかり話を聞くことを心掛け、家族の温かい声掛けで学習に対する興味関心を高め、意識を育てていきましょう。

効果的な学習方法（目指す子供の姿）

国語

<音読>

- ・ 毎日、声を出して教科書をすらすら読む。
- ・ 様子が分かるように気持ちを込めて読む。
- ・ 音読したときに、分からない言葉はそのままにせず、国語辞典や漢字辞典などを使用し、調べる。

<書く>

- ・ 書き順、とめ、はね、はらいに気を付けて、丁寧に正しく書く。

算数

<計算>

- ・ かけ算九九をすらすら唱える。
- ・ 筆算をするときは定規を使い、位をそろえて書く。
- ・ 文章問題は、内容を絵や図にかいたり、表やグラフにまとめたりしながら取り組む。

自主学习

- ・ 自主学习に取り組む。
- ・ その日の授業を復習したり、間違えた問題をもう一度やったりする。
- ・ 自分でテーマを決めて取り組む。
- ・ 国語辞典や百科事典、図鑑、インターネットなどを使って、多様な方法で学ぶ。

小学5・6年生

家庭学習のポイント

見守って伸ばす

学習時間の目安 60～90分

○ 自分に合った生活のリズムをつくれるようにしましょう。

(夕食前や後など学習に取り組む時間帯を決めましょう。)

○ 計画をたてて自力で学習を進めるよう見守りましょう。

○ 新聞やニュースの話題について家庭で話をするなど、社会の動きに興味をもてるようにしましょう。



家庭での関わりのコツ

1 何事も自分で計画をたて、実行する力をつけられるようにしましょう！

目標を実現させるためには、「今、何をすべきか。」「どのような順番で進めていくのか。」など、自分自身で考えていく力が必要になります。まずは、子供が自分自身で計画をたて、取り組めるように見届けましょう。

2 子供の存在を認めよう！

子供が反抗的な態度をとるときは、子供にも言い分があることが多いものです。よく話を聞き、納得するまで話し合しましょう。頭ごなしに否定しないようにしましょう。しかし、だめなことは「だめ」と理由をつけてはっきり教えましょう。

小学5・6年生

この時期の子供は・・・～自主性、判断力、深い思考力を育てるとき～



- 自分でできていると思っているので、言葉掛けに配慮が必要です。
- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 家族の言葉によって、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

- ・ 自分でやろうとする心が大きく育ちます。自分を客観的にとらえ、自分の存在や将来について考え始めます。
- ・ 自分が人からどう評価されているかを気にし、不安定になることもあります。
- ・ 見る範囲が自分の周りから広がり、大人の世界や社会のことに関心を持ちます。

効果的な学習方法（目指す子供の姿）

国語

<音読>

- ・ 教科書をすらすら音読する。
- ・ 間をとりながら読むなど、自分のめあてを意識して読む。
- ・ 教科書に出ている詩や俳句、短歌などを暗唱する。

<漢字>

- ・ 漢字の構成や字形を意識して丁寧に書く。

算数

<計算>

- ・ 学習した内容が身に付いているか、教科書やノートで確かめる。
- ・ 間違いはないか検算して、答えを確かめる。
- ・ 文章問題は、図をかいて考えたり、別の方法で解けないか考えたりする。

自主学习

- ・ その日の授業を復習したり、間違えた問題をもう一度やったりする。
- ・ 自分でテーマを決めて取り組む。
- ・ 新聞や国語辞典、百科事典、インターネットなどを使って、多様な方法で学ぶ。
- ・ 調べ終わった後に分かったことや自分の感想を書くなどし、まとめ方を工夫する。

